

庁議議事録

【荒川副知事】

ただいまから庁議を開催いたします。本日の議題は、「新・北海道ビジョン推進方針について」の一件であります。早速、総合政策部長から説明をお願いします。

【窪田部長】

総合政策部でございます。

私から、お手元にお配りしております資料 1 に基づきまして、新・北海道ビジョン推進方針についてご説明を申し上げます。本方針につきましては、8 月 4 日の総合政策委員会に案をご報告申し上げ、21 日に決定したところでございます。この内容について、資料に沿ってご説明いたします。

お手元の「配布資料 1」、1 ページをご覧くださいと存じます。まず、「趣旨」でございますが、この方針は、知事公約として掲げました政策の基本的な考え方や展開方向などを道民の皆様方にお示しをいたしまして、公約を着実に実施していくためにとりまとめたものでございます。

次に、「政策展開の基本的考え方」でございます。北海道のめざす方向とございますけれども、この下から三行目でございますけれども、「人口減少・危機突破」を道政の最重要課題と位置づけまして、将来への夢や希望を持ち続けることのできる活力ある地域社会、「世界に輝く北海道」の実現をめざすことといたしまして、「地域と一体」で進める道政、「世界に飛躍」する道政、そして「大胆に挑戦」する道政といった 3 つの基本姿勢のもと、政策を展開していくことといたしてございます。

次に、「基本政策」といたしまして、2 ページから 4 ページにかけまして、とりまとめてございます。「世界にはばたく産業創造プログラム」など 5 つのプログラムと、これらを確実に進めるため、4 ページになりますけれども、「道と市町村の総力で挑む北海道の未来づくり」の概要を記載してございます。

それから、5 ページから 8 ページでございます。これは、本方針の体系を示してございますけれども、これらのプログラムと個別政策を体系的に位置づけまして、個別政策といたしまして 109 本の政策を掲げてございまして、一体として推進していくこととしてございます。

次に、9 ページ以降をご覧くださいと思います。「ASEAN プロジェクトの推進」以下、109 項目にわたりまして、それぞれの政策の展開方向として、その手順や具体的な方策などをとりまとめてございまして、各部局・各振興局におきましては、既に取組に着手されているものも多数あろうかと存じますけれども、それぞれにおきまして確実に推進していただきたいと、このように考えるところでございます。

最後に、本方針につきましては、現在策定中でございます新しい総合計画に反映させることはもとよりでございますけれども、その重点戦略計画であります北海道創生総合

戦略や、各部が所管している分野別計画に政策を具体的に位置づけた上で、KPI 指標を活用するほか、PDCA サイクルの確立によりまして、不断の点検・見直しを行いながら各施策を一体的に推進することとしてございます。

公約の着実な推進に向けまして、各部局における適切な役割分担と連携を一層強化しながら取り組んでいただきますよう、お願いを申し上げます。

【荒川副知事】

ただいま、資料 1 に基づきまして説明がありましたけれども、ただいまの説明についてご質問・ご意見あればお願いいたします。

推進の考え方というのが 4 ページに出ておりますけれど、これまでも公約の推進計画とか作ってきたんですね。例えば毎年冊子を更新したりしてきましたけど、その点で新しい考え方等、あるかないか含めて、補足していただきたいと思っております。

【窪田部長】

これまではですね、いわゆるローリングというような作業を行ってまいりましたけれども、ローリングにかける作業を省いて、とにかく公約を実施していく、具体的な成果を積み重ねていく、一日でも早く、一ヶ月でも早くここに書いてあることを具体的に形にしていくということを第一義に考えてございます。今後、点検・評価などにつきましては、具体的に政策評価を担当する部局とご相談を申し上げますけれども、毎年行う政策評価の中で、KPI 指標など各指標を用いて点検を不断に行っていくということでございますので、よろしくお願いを申し上げます。

【辻副知事】

こうやって、初めてビジョンの推進方針が出てきたということもあるんですけど、地方創生だとか計画とか色々同時並行で進んでいるものもいっぱいあるので、そういうものができるのを待たずに、スピード感を持ってやるのが大切だと思っております。道庁が一步でも二歩でも前に出ていると見せていくことが大事だなと思っておりますので、この方針さえあればですね、そういった形のもの、具体的なものがいっぱいありますので、早くやれるよう心がけたいと思っております。色々、連携、協力というところもありますけれども、動くところがはっきりしていないと連携するものも見えないということもありますので、そういうところもしっかりやりたいと思っております。

【荒川副知事】

ありがとうございます。今の辻副知事のご発言、窪田部長の説明も含めてですね、やはりどうやって具体化していくか、スピード感をもってやるということが一番重要かと思っておりますので、各部・各振興局におかれてもよろしくお願いたします。

議題は以上ですけれども、その他、ご発言があればお願いいたします。石狩振興局お

願います。

【小野塚石狩振興局長】

石狩振興局の小野塚でございます。地方創生に関連する情報提供をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。お手元のチラシをご覧いただきたいと思います。

当振興局では、来週の金曜日、9月11日になりますけれども、ホテルポールスター札幌におきまして、人口減少に関して地域が直面している諸問題をテーマとして、今後の地域経営に活かしていただくことを目的とした「地方創生セミナー」を開催いたします。

石狩管内におきましては、道内人口の三分の一以上を占めております札幌市など、出生率が非常に低い状況にある中で、少子化対策をいかに進めていくかということが大きな課題となっております。また、東京圏をはじめとする高齢者の地方への移住促進を通じた新たな地域活性化の方策として注目されております日本版 CCRC 構想について、管内の市町村からは、具体的な内容などに関する情報提供を求める声が出てきております。こうしたことから、このたびのセミナーの内容といたしましては、一つは「日本の人口転換と札幌圏の少子化について」札幌市立大学の原教授から、もう一つは「日本版 CCRC 構想について」株式会社三菱総合研究所プラチナ社会研究センター長の鎌形さんからご講演をしていただくこととしております。

原先生は日本人口学会会長を務められており、また、鎌形さんは日本における CCRC 研究に関する第一人者でございます。お二人からは、市町村をはじめ、地方関係者が地方創生に向けた取組を進める上で参考になるお話をいただけるものと考えております。

これは、各振興局・本庁各部の皆様には既にご案内申し上げますけれども、石狩管内以外の市町村なども含めて、多くの方々にご参加いただければと思っておりますので、改めて紹介をさせていただきました。

この地方創生セミナーにつきましては、今後も重要と考えられるテーマをとりあげて開催してまいりたいと考えているところでございます。

【荒川副知事】

そのほか、発言ございましたら。それでは、知事から一言申し上げます。

【知事】

お疲れ様です。高橋でございます。今日の議題、私どもからご提供申し上げたのは、「新・北海道ビジョン推進方針」ということでありまして、私が知事選の際に道民の方々にお約束した公約をこれから着実に実施していくための基本方針ということでありませう。地域と一体となって仕事をやっていくということを私は常に言っております。最近の一週間をとっても、色々なところにお邪魔させていただいておりますが、これからも

各振興局にまいりますので、その際はよろしく願いをいたします。

それから、石狩振興局から、地方創生のセミナーについて紹介がございました。北海道全般の社会減・自然減と言われている中で、とりわけ出生率の問題というのは、札幌市を含む札幌圏、道央圏の問題といっても過言ではないと思っているところであります。ぜひ、札幌圏、石狩管内を中心として、しっかりと話を聞くだけではなくて、それを政策の実現に結びつけていく、もちろん、我々も共に汗をかいてまいります、やっていただきたいと思う次第であります。

今日で今月も終わるわけでありましてけれども、今年も大雨の被害がお盆前後くらいから、大変全道に多くございました。幸いなことに、去年のように人的被害というところまでいったものがなかったことは、ほんと胸をなでおろしているところでございますが、まだまだこれからも台風の季節は続きます。ぜひ、皆様方それぞれの地域、あるいは本庁各部もそれぞれの分野でしっかりと自然災害への対応なども万全の体制で対応していただきたいと思う次第です。私からは以上です。

【荒川副知事】

以上で本日の庁議を終了いたします。